

千里山の新しい道路標識と商業施設

二十回生 浅野 倉平

千里山駅から千里山佐井寺図書館に通ずる道路が一新されました。

平成二十二年から、千里山駅周辺整備事業として、老朽化したUR都市機構千里山団地の建替え工事と併せて、千里山駅周辺の交通環境を改善すべく、都市計画道路千里山佐井寺線の一部の道路幅拡張工事、及び、千里山駅跨線橋等の工事が一体となり始まりました。

平成二十六年三月、千里山団地の最初に建て替えが終了、一部の集合住宅への再入居が始まり、又、同年十二月に完成した千里山駅を跨ぐ跨線橋工事が、平成二十七年一

月二十一日から全面的に供用が始められました。これに伴い阪急電車の千里山駅傍の「文化踏切道」が自動車の通行が禁止され、歩行者と自転車の専用踏切となり、その為に、踏切の幅も、従来の約半分に縮小されました。

道幅が拡張された道路には「道路標識」・「道標標識」が幾つかとりつけられました。どちらの標識も、他の街では、良く視掛けられるものですが、千里山では、初めて取り付けられた標識です。これらの標識に付いては、千里山の景観をみだすものであるとの、批判をする人が、若干、おられた様ですが、千里山駅跨線橋が出来、又、「文化踏切道」が自動車の全面通行禁止となりましたので、車の流がこれまでとは一変する事になりましたので、車の流がこれ「道路標識」の設置は必須のものであると思われま

尚、この一新された道路には、「大きな古時計」を詠詩さ

れた、保富庚午さんに因み「大きな古時計通り」と名付け、メロディーを流そうと言う計画もあるようですが、まだ、具体化はされていない様です。

整備事業の一環として、既に、供用が開始されている駐輪場に続いて、地上三階・地下一階の商業施設「Bivi千里山」が完成し、平成二十七年四月十五日にグラランド・オープンしました。三階には「吹田市立千里山コミュニティセンター」が四月十一日、他のテナントに先がけて開館しました。同センターは会議室や料理実習室、和室、多目的ホールなどの貸室業務を行います。又、三階には歯科医院が入居しております。二階には百金ショップの「Seria」・ドラッグストアの「薬のキリン堂」・写真館の「スタジオ・マリオ」が入居し、一階には、スーパー・マーケットの「阪急OASIS」が開店しました。尚、地下一階は駐車場になっています。

この商業施設は、UR都市機構より土地を購入した大和リース株式会社が事業主となり、この施設を建設し、その後の運営にもあたっておりますが、三階のコミュニティセンター部分は吹田市に売却され、大和リースと吹田市で区分所有が行われているところに、この商業施設の特徴があります。

整備事業は、今後、駅前交通広場の整備・千里山交番の移動・公共下水道の工事等が行われる予定で、全てが完成するのは、平成二十八年春の様です。



千里山佐井寺図書館前標識



Bivi 千里山前標識



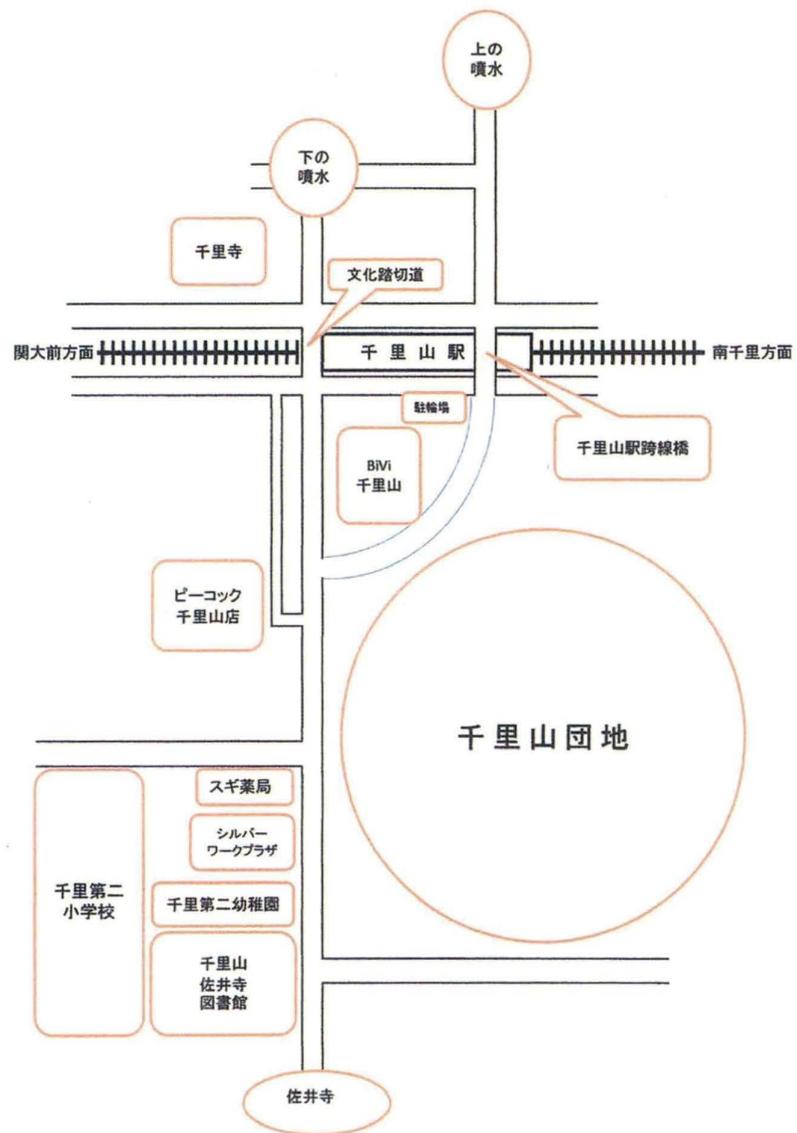
スギ薬局前標識



Bivi 千里前から千里山佐井寺図書館方向



ピーコック千里山店前より文化踏切道方向



Bivi 千里山



千里山駅跨線橋